

# 内科

## 糖尿病教育入院のご案内

### 1. 糖尿病になると・・・

最近の国民健康・栄養調査によると日本の20歳以上の国民のうち、

「糖尿病が強く疑われる人」は約890万人

「糖尿病の可能性が否定できない人」は約1320万人

と推計され、両者を併せると2210万人に達しています。

これは最近10年間で840万人の増加です。

糖尿病は症状がほとんどなく、治療しないままに放置されてもご本人は困ることがありません。

しかし、その後には待っているのは、

視力障害(日本における中途失明の原因の第1位が糖尿病)

腎不全(日本における人工透析の原因の第1位が糖尿病)



下肢の壊疽、脳梗塞、心筋梗塞(当院で心臓血管バイパス術を施行される方の6割以上が糖尿病か耐糖能障害)など恐ろしい合併症です。

一方、適切な治療を続けていけば、合併症と無縁の人生を送ることができ、糖尿病体質自体が徐々に改善し薬物の減量なども可能です。

### 2. 当院での取り組み

当院内科では、ただ血糖値を下げるだけの治療ではなく、ひとりひとりの方が糖尿病になった原因を体質の検査や生活習慣の調査から明らかにし、それぞれに合った治療法を目指してきました。

インスリン感受性の改善と、内因性インスリン分泌能の回復を図り、**インスリン治療からごく弱い経口糖尿病薬治療や食事療法だけに戻す**といったことも多数の方で成功しています。

さらに、腎症をはじめ合併症に対しても、血糖コントロールに加え、血圧コントロール、特殊食の指導・実施、薬物治療などを積極的かつ根気強く行い、**かつては進行の予防さえ難しいといわれた合併症の改善が得られるようになってきました。**

このような長年の経験を生かして、患者さんの「自己管理」をサポートするため、医師・CDE(糖尿病療養指導士)の資格を持った看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師など専門のスタッフがチームを組んで患者さんの治療をサポートするプログラムを立ち上げました。

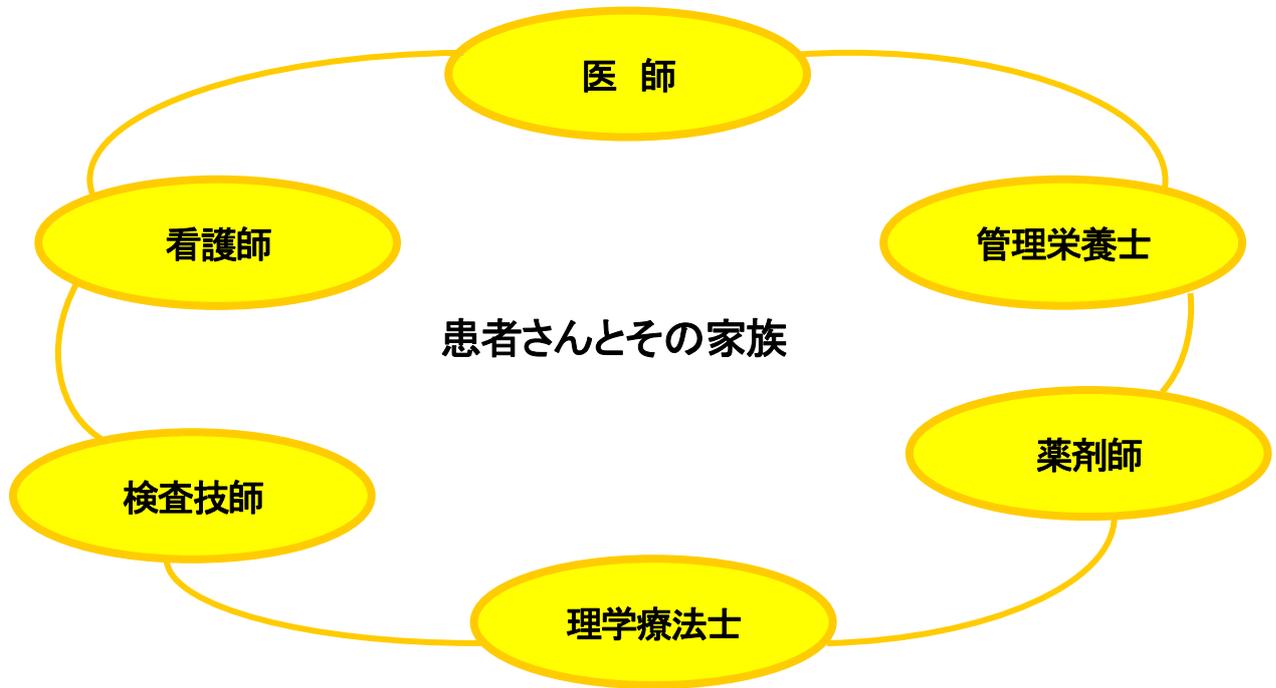
高砂市民病院 内科

電話079-442-3981(代表)

### 3. 糖尿病教育入院

一週間入院を基本とし、集中した糖尿病教育、指導、診療が受けられます。

糖尿病は、初期の段階から適切な治療を続けることによって、様々な合併症(網膜症・腎症・神経障害・動脈硬化など)を予防することができます。そのためには、治療の主役の患者さんとその家族の皆さんに、糖尿病コントロールの知識と技術を身につけていただくことが重要となります。



### 4. 地域の先生方へ

いつも、患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。  
糖尿病につきましても、ご周知のように、

合併症が明らかになってからの対処対応では治療が困難になります。

初期の段階から適切な治療を続けることによって、様々な合併症(網膜症・腎症・神経障害・動脈硬化など)を予防することが重要です。

教育入院により糖尿病コントロールの知識と技術を身につけていただくことが重要となりますので、患者さんの生活の質を守るためにも、初期の段階で当院内科へご紹介いただければ幸いです。

#### 【内科 外来診療担当医表】

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1診(初診)	川口	廣末	高澤	来田	茂山
2診	廣末	井垣	井垣	茂山	廣末
3診	来田	高澤	後藤(武)	後藤(武)	横田
4診	井垣	後藤(俊)	竹本	萩原	門口
5診(サブ)	木下	竹本	木下	横田	川口
6診				金光	

※ 患者さんのご紹介は、内科・川口 貴行 医師、横田 一樹 医師の診療担当日にお願いいたします。

※ 当院糖尿病教育入院は、糖尿病初期の方の教育を主な対象としております。ご理解・ご協力をお願いいたします。